

軽防協ニュース速報 号外

2008年8月21日

軽種馬防疫協議会 事務局

(JRA 馬事部防疫課)

アメリカ合衆国（フロリダ）における馬ピロプラズマ病の発生について

2008年8月15日、フロリダ農務省および消費者サービス事務局は、Manatee郡における馬ピロプラズマ病の発生を発表した。なお、本病のアメリカにおける発生は、1988年以来である。

感染馬（騾、7歳）は、3週間の加療後に安楽死処分となり、血液検査および病理組織学的検査によって、馬ピロプラズマ病と診断された。

州当局は、直ちに、同牧場に隔離措置を取るとともに、繋養馬に対する検査を開始した。また、本病の発生源および隣接地区への伝播に関する調査は、州の獣医事務局の手によって現在進められている。

(8月18日)

参照 HP (news.bloodhorse.com) : <http://news.bloodhorse.com/article/46642.htm?id=46642>

「続報」

発生牧場の繋養馬において、新たに4頭の馬の感染が確認された。

これらの罹患馬は、先に感染が確認された馬と同棟で繋養されていた。同牧場の別棟に繋養されていた馬は、すべて陰性であった。同牧場で採集された20匹のマダニは、メキシコ湾岸マダニ (*Amblyomma maculatum*) と特定されたが、このマダニが馬ピロプラズマ病を伝播するかは不明である。

牧場内での感染形式は、ダニの媒介による伝播ではなく、注射針による伝播の可能性が示唆された。州当局は、発生地域における馬とダニの監視を継続し、近隣4牧場に対しても、サンプルの収集と検査が終了するまで移動制限をかけている。

(8月19日)

参照 HP (the HORSE.com) : <http://www.thehorse.com/viewarticle.aspx?id=12540>